



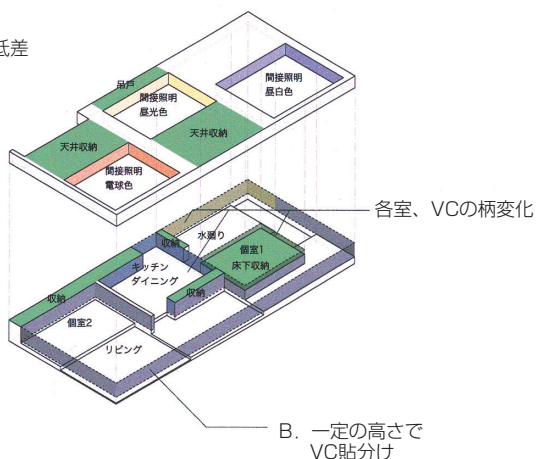
主空間の仕切り高さを抑えて住戸全体を一体的な空間としながら、床と天井の両方に高低差をつけることで変化を与えたユニークな提案。汎用性は望めないが、間接照明を3色使い分けしたことも含め、多様な視覚効果が期待できる。

リフォーム前後の写真



リフォーム前 LDKから個室を見る

A. 床、天井に高低差



リフォーム前

リフォーム後

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

各室の間仕切壁を極力無くし開放的な空間としたが、床・天井に高低差をつける事で、それぞれの差別化を図った。又、壁のクロスを、船の吃水線のように一定の高さで張り分ける事により、床の高低差をはっきりと認識出来る様にした。

1. クロスの柄にも変化をつけ、各室のイメージに変化を与えている。
2. 天井についても、高低によってクロスを張り分けている。

3. 間接照明も各場所によって3色の光を使い分け、それぞれに光の色を強調する色に間接照明ボックス内部を塗装している。
- 以上3点等、開放的でありながら、より各室の個性を強調するように意図している。
- そして、床・天井に高低差をつける事で出来る空間を収納として利用するなど(個室の床下収納、天井収納、キッチンの吊戸等)、すっきりとした住空間でありながら十分な収納スペースを確保している。

特に配慮した住宅性能:

データ

所在地	大阪府大阪市	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造 / 10ヶ月
該当工事面積	68.48 m <sup>2</sup> / 総工事床面積 68.48 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	700 万円 / 総工事費 700 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人 / 65歳以上: 1 人 / 15歳未満: 0 人 / ベット: 0 人		
設計会社	kt一級建築士事務所	担当者	山隈 直人
施工会社	(有)匠工務店	担当者	高橋 誠治

